

2017年度 決算内容のお知らせ

2017年度 決算概要

● **損益計算書** 期間中の年金・一時金の支払いや掛金収入、年金資産の運用結果による収支を示しています。

(2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位：億円)

支出		
	2017年度	2016年度
給付費	570	553
(年金)	(405)	(397)
(一時金)	(165)	(156)
移換金等	17	252
責任準備金増加額	997	223
運用損失	0	0
運用報酬等	16	17
別途積立金積増金	33	0
当年度剰余金	310	103
合計	1,943	1,148

収入		
	2017年度	2016年度
掛金	755	747
(標準)	(324)	(310)
(特別)	(388)	(437)
(特例)	(43)	(0)
受換金等	732	48
運用収益	456	353
当年度不足金	0	0
合計	1,943	1,148

※掛金は各月末日現在で計算した額を翌月末日までに納付いただいています(会社が全額負担しています)。

● **貸借対照表** 年度末における資産と負債(将来の年金給付のために積み立てておくべき資産)の状況を示しています。

(2018年3月31日現在)

(単位：億円)

資産		
	2017年度	2016年度
流動資産	208	208
固定資産(運用資産)	11,824	10,482
繰越不足金	0	0
当年度不足金	0	0
合計	12,032	10,690

負債		
	2017年度	2016年度
流動負債等	80	78
責任準備金	10,003	9,006
別途積立金	1,639	1,503
当年度剰余金	310	103
合計	12,032	10,690

※数理債務1兆1,799億円、未償却過去勤務債務残高1,796億円、最低積立基準額1兆1,557億円。

2017年度 財政検証

法令に基づき、毎決算時に基金財政が健全な状態にあるか、「継続基準」と「非継続基準」の2つの観点で実施することが義務付けられています。

継続基準による検証

基金を継続して運営するうえで必要となる債務(数理債務)に対し、年金資産の積立状況を検証するものです。基準に抵触した場合は掛金の見直しを行います。

**検証
結果**

2017年度末は、基準値をクリアしています。年金資産は順調に積み立てられており、掛金の見直しを行う必要はないことが確認されました。

非継続基準による検証

基金が解散したと仮定した場合に必要な額(最低積立基準額)に対し、年金資産の積立状況を検証するものです。基準に抵触した場合は掛金の追加拠出が必要となります。

**検証
結果**

2017年度末は、基準値をクリアしています。年金資産は順調に積み立てられており、掛金の見直しを行う必要はないことが確認されました。

2017年度 決算まとめ

- ◆ 2017年度は、運用収益の確保等により、当年度剰余金310億円を計上しました。当年度剰余金は次年度へ繰り越します。なお、実質積立超過(年金資産(1兆1,952億円) - 数理債務(1兆1,799億円))が153億円となりました。
- ◆ 当基金は引き続き、資産運用におけるリスク抑制を図るなど、制度の安定運営に取り組みます。



日立企業年金基金

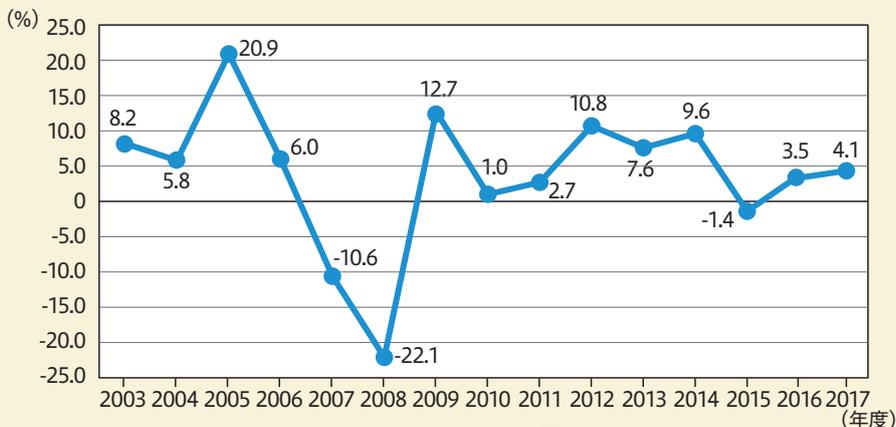
ホームページ：<http://family.hitachi.co.jp/nenkin/> [ユーザー名：hitachi パスワード：kikin]

2018年7月9日に開催されました代議員会において、2017年度の決算が承認されましたので、その内容をお知らせします。

市場動向と当基金の運用結果

2017年度は、上期は欧州政治リスクの後退などから堅調に推移し、下期に入ると衆院選での与党勝利や米国税制改革法案の成立等が好感され、株式市場は急上昇しました。その後、年度末にかけて米国金利の上昇や米国の保護主義強化懸念等を受け株式市場の騰勢は弱まりましたが、各資産ともプラス収益を確保し、当基金の運用利回りは+4.1%となりました。

●当基金の運用利回り推移（2003年度～2017年度）



●資産区分別市場利回り

資産種類	2017年度	2016年度
国内株式	15.9%	14.7%
外国株式	8.5%	14.5%
国内債券	0.9%	-1.3%
外国債券	4.2%	-5.4%

当基金の政策的資産構成割合

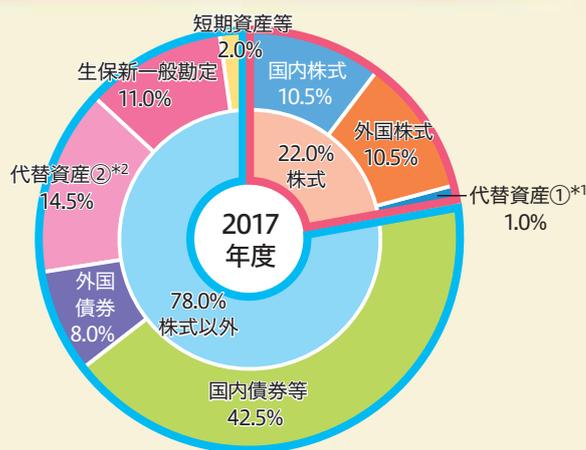
当基金では、制度運営・維持に必要な運用利回り（3.0%）を達成するため、「政策的資産構成割合」を策定のうえ各資産に分散投資し、リスク管理を図りながら、安定的運用を行ってまいりました。

当基金の2017年度の政策的資産構成割合は、右図のとおり、株式資産が22.0%、株式以外の資産が78.0%となっています。

下方リスク抑制を図るため、安定的に収受できる利息や配当収入を重視した運用も実施しております。

*1：未上場株等への投資

*2：伝統的資産運用（株や債券）以外で利息や配当収入を得る運用等



当基金の資産運用の基本方針

当基金の年金資産運用は、加入者・年金受給権者に対する年金給付および一時金給付の支払いに必要な十分な時価資産の蓄積を図るために、中長期的に安定した総合収益を確保し、将来にわたって健全な年金財政を維持することを目的として「資産運用の基本方針」を策定し、当該基本方針に沿って運用しております。

❖「資産運用の基本方針」の主な規定内容❖

- ・年金資産の運用の目標に関する事項
- ・年金資産の資産構成割合に関する事項
- ・運用受託機関の選任・評価に関する事項
- ・運用業務に関し遵守すべき事項 等

※「資産運用の基本方針」は、日立基金のホームページの「資産運用について」に掲載しています。

資産運用委員会の議事概要

2017年度は6月および2018年1月の全2回実施しました。

各委員会において、運用実績と今後の運用環境見通しの報告、および運用受託機関評価の検討を行いました。

また、個別の議題として、6月の委員会では2016年度決算の報告および財政状況の確認を行いました。

1月の委員会では「資産運用の基本方針」見直しおよび2018年度の政策的資産構成割合案等について検討し、代議員会への提案を確認しました。